

大学院への 進学

実学重視の伝統を踏まえた 21 世紀の人材育成

経済学という理論的チャンネルを通した思考力こそ、社会が要請するもの。大学院は、自己の関心に基づく専門領域でアカデミックな理論体系について高度な専門知識と技術を習得し、それを現実の経済問題に応用し、理論の現実的妥当性を検討し、分析結果を政策提言に結びつけるなど、問題解決能力の鍛錬を行う場です。本研究科では、多彩な専任教員スタッフによる少人数教育を実践しています。

学内の学部学生の大学院進学を後押し

中央大学大学院経済学研究科博士前期課程に進学を希望する学内の学部学生のために、「学内選考入学試験」という制度があります。

「学内選考入学試験」の主な特徴

- 1 対象は、学部 4 年生と早期卒業制度利用の 3 年生
- 2 3 年次までの成績が優秀で、大学院の研究計画をしっかりと立てた学部学生は、筆記試験なしに口述試験で選考
- 3 合格者は学部 4 年次に大学院の科目を一定単位履修することができ、それを大学院入学後の修得単位に認定
- 4 上記3によって、努力次第では博士前期課程を 1 年間で修了することも可能

将来、研究者や高度専門職業人をめざす学内の学部学生の大学院進学を後押しする制度ですので、積極的に活用してください。さらに、この制度と経済学部のキャリア形成を支援するための「経済学部創立百周年記念奨学金」「早期卒業制度」、大学院の「博士前期課程の 1 年修了制度」を併せて活用すると、経済的支援を受けながら、次のように短期間で修士の学位を取得し、キャリアアップを図る可能性も生まれます。



詳細は大学院 Web サイトをご覧ください。 <http://www.chuo-u.ac.jp/academics/graduateschool>

大学院への進学 | 体験記



早期卒業制度を利用して 3 年で学部を卒業、研究者の道へ 中央大学大学院 経済学研究科博士前期課程 経済学専攻

学部の講義を通してさらなる研究に取り組みたいと考えた私は、早期卒業制度を利用して3年で卒業、研究者の道をめざしました。この制度のおかげで、時間と費用の節約はもとより、大学院進学を明確に意識した大学生活を送ることができました。現在私は、消費者行動の側面から「観光における消費者の環境配慮行動」についての研究を進めています。修士課程においては、消費者の環境配慮行動の一貫性についてアンケート調査を行い、普段の環境配慮行動と観光での環境配慮行動とで一貫して環境配慮行動をとる消費者についての要因分析を行いました。観光というテーマは今後も重要なトピックです。既存の研究に少しでも新たな研究内容を付加したり、新たな知見からの捉え方を提示するなど、研究自体を発展、深化させることに、強い使命感和大きなやりがいを感じています。

2016年 公共・環境経済学科 卒業
栃木県立大田原女子高等学校 出身

高尾 美鈴